

令和7年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 教授 (氏名) 鈴木拓雄

取組状況	
教育	<p>1.設計製図Ⅱの授業において、修正指示した印刷図面を残すように指示した結果、修正/未修整の状況や認識を学生と教員間で共有しやすくなり、理解度やスキルの程度を可視化できるようになり、評価においても学生の納得感の向上につなげることができた。</p> <p>2.アントレプレナーシップやSDGsの知見を醸成するため、前期から後期の序盤にかけて、1学年のFor S-Lの時間を利用して外部講師による教育の円滑化を支援できたが、外部講師との協働が教育効果や運営に及ぼす影響を精査する必要があると考えられる。</p>
研究	<p>①Itta Kaizu, Seiichi Sugimoto, Takuo Suzuki, Takanobu Tamiya, Katsuhiro Sagara, Satoshi Kobayashi, "Improvement of Mechanical Properties of Recycled Wood-Based Structural Materials by Hydrothermal Hot Pressing and Steam Treatment", The 10th International Conference on "Science of Technology Innovation" 2025, 11, Nov. 2025</p> <p>②3D プリンタ用フィラメントの機械的性質の測定と推定に関する研究, 山下, 小宮, 鈴木, 田宮, 杉本, 相楽, 第44回数理学講演会, 東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス, 2025/8/30</p> <p>③フレキシブルシャフトの繰返しねじり強さの実験的検討, 田宮, 中野, 柴田, 杉本, 鈴木, 相楽, 富田, 第44回数理学講演会, 東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス, 2025/8/30</p>
社会貢献	<p>1.体験入学用のコンテンツとして導入した「たたら製鉄」の成功率向上の方策を検討した結果、ケラ(製鉄により生成される純鉄を含む物体)をマイクロカッターで切断することにより、製鉄された状況を観察しやすいように改良できた。</p> <p>2.出前授業を実施する機会はなかったが、偏光板や圧電体等、小学生や中学生からすると不思議な性質をもつ材料を使用した内容を通して、電気や力学、またそれらの相互作用に理解が深まる内容を実施できるよう準備を整えていた。</p>